

令和7年度

第4回

日向市特別職報酬等審議会資料

令和7年10月14日(火)

目 次

1	第3回審議会振り返り	1 ページ
2	直近の市内の動向	2 ページ
3	答申案・報告案	3 ページ

1 第3回審議会振り返り

報酬額増額	報酬額据え置き	中間報告（継続審議）
・ しっかり議員活動をしている人には報酬面で一定の保障も必要。 ・ 30年近く報酬が据え置きだが、物価は確実に上がっている。昨今の賃上げの状況からも増額すべき。 ・ 議員の人材として、市の将来を見据えた若い世代の議員参画は重要。	・ 市民感覚からして、年収ベースで見ると議員報酬はかなり高く、その状況で報酬を上げることに市民が納得するだろうか。 ・ 政務活動費の拡充で十分ではないか。	・ もう少し議論を重ねても良いのでは。 ・ 物価上昇や最低賃金の状況もあり、報酬を上げるべきだと考えるが、上げ幅については慎重に検討すべき。 ・ 市民団体から議会に対して陳情書を出す予定であり、その後の議会の動向をみながら審議を進めて良いのではないか。
議員定数	その他	
・ 報酬を上げるとすれば議員定数を見直し、財源を確保した上での増額が望ましい。 ・ 議員定数削減には反対。 ・ 議員定数削減の場合、人口の少ない地域としては不安が大きい。 ・ 議員定数の件は主な答申内容ではなく、付記部分に留めるのが妥当。	・ この審議会の開催頻度のことは答申書に明記すべき。 ・ 審議会としての答申は、市内の各団体代表の総意ではある。委員全てが一致することは理想だが難しいのではないか。 ・ 2年後に市議会選挙が控えているため、選挙の1年前までには答申（結論）を出したい。 ・ 今回報酬を上げたとしても、審議会を定期的に開催して、その時の状況によっては下げる場合も出てくる。議員には報酬増額への期待感と責任感を意識してもらいながらも、柔軟に変化する仕組みにしてもよいのでは。 ・ 今回は継続審議とし、同じ委員で答申に向けて審議するよりも、一度据え置きや増額で答申して、次回は異なる委員が新たな角度から議論する方法もあるのでは。 ・ 次回は「増額」「据え置き」「継続審議」のどれにすべきか、各委員が自分の最終意見を持ってきてはどうか。	

② 直近の市内の動向

令和 7 年 8 月 26 日

日向市区長公民館連合会から市議会へ

議員定数適正化などを求める陳情書を提出

3 答申案・報告案

別紙（参考資料7）に詳細を掲載。第3回審議会にて提示した資料にこれまでの審議会での意見を反映したもの。

○答申する（結論が出た場合）際の書面案を提示
・・・**増額改定案、据え置き案**

○結論が出ず継続して審議する際の書面案を提示
・・・**中間報告案**

⇒次の審議会開催時期はいつにするか？

①陳情書に対する議会の審議結果が出てから

②状況共有も兼ねて定期的開催（1、2月）など